

令和4年度自己点検・評価について

自己評価総括委員会委員長（学長）
鶴田隆治

1. 令和4年度の自己点検・評価について

本学は、令和4年度の自己点検・評価における重点項目として、令和4年度の事業計画に対する進捗管理とその進捗率及び成果を掲げ、教学自己評価委員会並びに管理運営自己評価委員会で点検・評価を実施した。

(1) 教学自己評価委員会

教育分野、研究・地域貢献分野（「新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種の実施」を除く）及び教職課程の自己点検・評価について

(2) 管理運営自己評価委員会

管理運営及び新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種の実施について

(3) 学生等に対する各種アンケートの実施について

2. 評価結果について

(1) 教学自己評価委員会による自己点検・評価について

教学自己評価委員会による令和4年度事業計画の進捗状況及び成果を点検・評価した結果は次のとおりです。

【教育分野】

① 高大接続を円滑に行うための入学者選抜試験の見直し

令和7年度入学者選抜試験に「情報」科目を全学部で取り入れることを決定の上、公表。

② 数理・データサイエンス教育プログラムの推進

文部科学省からリテラシーレベルの認定を受け、応用基礎レベルを令和6年度に申請予定。

③ NITモノづくりデジタル人材育成の推進

電気情報工学系と情報デザイン学科にDX設備を導入し、令和5年度から本格稼働。

④ 教育の質保証に向けた学修成果等の可視化

既存のコンテンツの活用推進と、卒業時にディプロマサプリメントを発行する計画を策定。

⑤ アフターコロナに向けた学生支援

学生の行事やイベントを積極的に実施、サークルの立上げを奨励し、新たに6サークル発足。

【研究・地域貢献分野】

① 地域・産学連携センターを核とした研究活動の活性化

地域企業や自治体との新たな連携を構築し、共同研究などの件数が前年度比124%増加。

② カーボンニュートラルに貢献する研究の推進

「高効率インバーター」及び「再生エネルギーによる発電・蓄電技術」の研究を推進。

【教職関係】

① 教職課程の自己点検・評価

教務委員会の教職課程部会が中心となり教職課程の自己点検を行い、「教職課程の自己点検・評価書」を作成の上、教学自己評価委員会において自己評価を実施。

(2) 管理運営自己評価委員会による自己点検・評価について

管理運営自己評価委員会による令和 4 年度事業計画の進捗状況及び成果を点検・評価した結果は次のとおりです。

【研究・地域貢献分野】

① 新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種の実施

計画通り 3 回目の大学職域接種を実施し、関係者及び地域のワクチン接種の促進に寄与。

【管理・運営分野】

① PC 必携化に伴う教育環境の充実

PC 必携化により 4 つの PC 教室を普通教室に転換、無線 LAN アクセスポイントを増強。

② 学生・保護者へのサービス向上化

学生の欠席届の電子化、保護者にアカウントを発行し、学生の修学状況を確認できるよう整備。

③ 危機管理マニュアルの拡充整備

危機管理マニュアルに風水害などへの対応機能を強化、新型コロナウイルスに伴う事業継続計画（BCP）を国の指針に沿って適宜更新。

(3) 学生等に対する各種アンケートの実施について

令和 4 年度に計画された学生等に対する各種アンケートについて、教務部、学生部及び教育評価室により以下のとおり実施し、結果については教育並びに学生指導・支援の改善につなげるよう各部署、学部、学科等に要請しました。また、結果の概要についてはホームページで公開しました。

- ① 新入生アンケート（本学を知ったきっかけや志望動機、本学のイメージ等を調査）
- ② 卒業時アンケート（卒業予定者を対象に本学での教育や進路に対する満足度を調査）
- ③ 卒業後アンケート（卒業生を対象に本学での学びの満足度、成長実感、仕事への活用等を調査）
- ④ 学生の授業評価アンケート（全ての授業科目を対象に学生による授業評価を実施）
- ⑤ 学修実態調査（学生を対象に記名式で自学自習時間や理解度等を調査し、成長度を把握）
- ⑥ 学生満足度調査（学生を対象に教育、環境、施設、教職員、課外活動等の満足度を調査）
- ⑦ 全国学生調査（文部科学省が全大学を対象に実施する学生の学びの実態等を把握する調査）

3. 所見

教学自己評価委員会及び管理運営自己評価委員会で、令和 4 年度事業計画の進捗管理及び達成状況を点検・評価した結果、教育分野、研究・地域貢献分野、管理・運営分野及び教職課程の自己点検・評価の各分野において概ね目標を達成したことが分かりました。

また、令和 5 年度から義務化された教職課程の自己・点検評価についても、教務委員会の教職課程部会が中心となり教職課程の自己点検を行い、「教職課程の自己点検・評価書」を作成の上、教学自己評価委員会において自己評価を実施しました。今後は教職課程部会により PDCA サイクルを構築し、情報共有の徹底に努めて参ります。

さらに、令和 5 年 3 月 27 日に外部評価委員会を開催の上、「データサイエンス入門」の自己点検・評価の外部評価を受け、文部科学省に認定された「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」の教育プログラムの推進と、応用基礎レベルについては、令和 5 年度中に令和 6 年度に開講する工学部共通科目「esports 基礎」及び「esports 応用」の授業内容を検討し、令和 6 年度に認定申請を行うため、次年度から開講及び点検・評価を実施する予定です。

以上